

第1回ワーキング用資料

総合治水条例について

- ✦ 総合治水条例の背景
- ✦ 総合治水条例の概要

総合治水条例の背景

総合治水条例の背景

度重なる大雨がもたらす甚大な被害

近年の台風災害による県内の主な被害

平成16年
台風第23号



豊岡市

平成21年
台風第9号



佐用町

平成23年
台風第12号



高砂市

平成23年
台風第15号

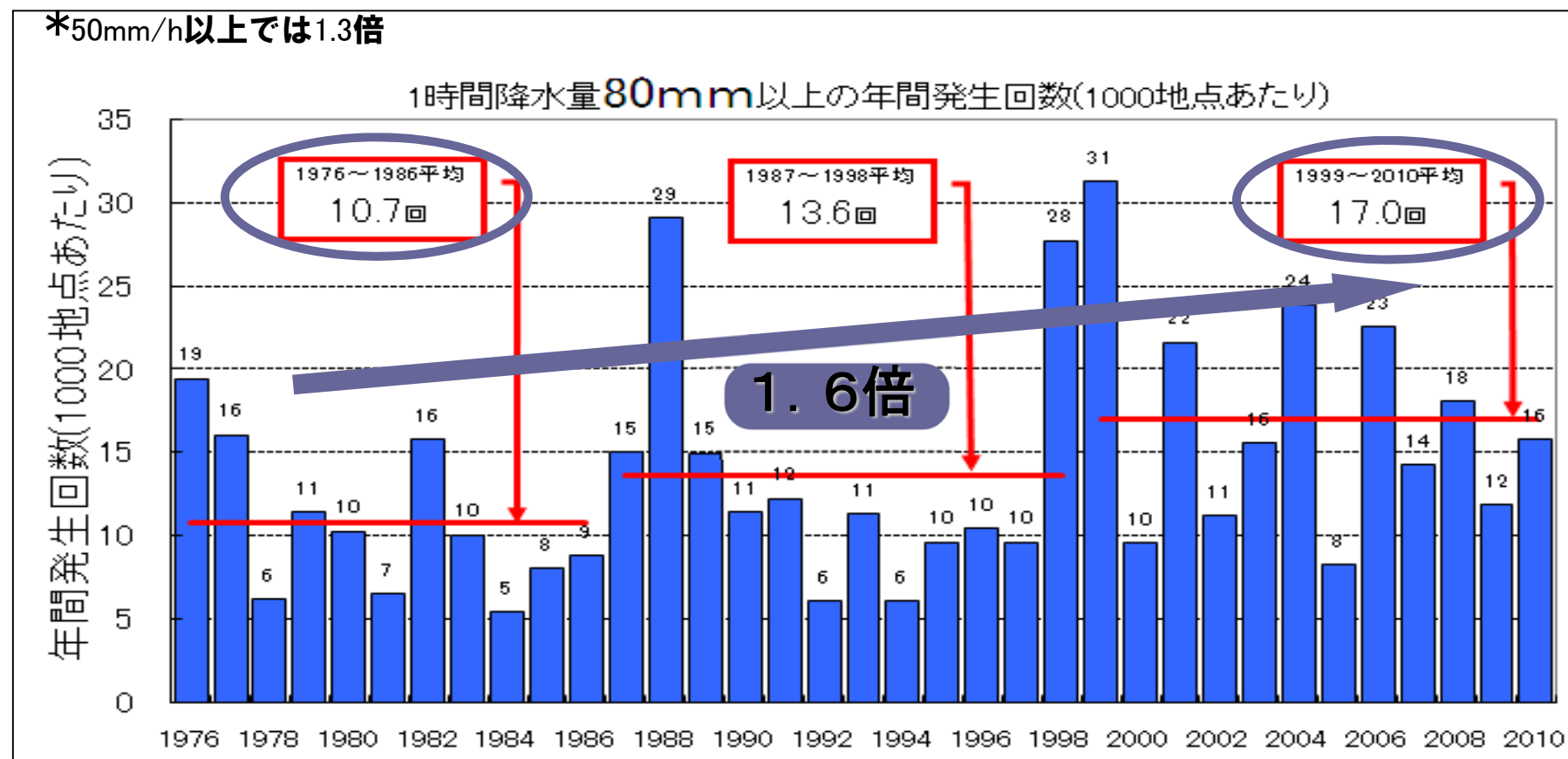


南あわじ市

総合治水条例の背景

増加傾向にある大雨の頻度

30年前と比較すると、猛烈な雨（80mm/h以上）が降る回数は1.6倍に上昇（年間10.7回→17.0回）



気象庁HPより

総合治水条例の背景

- 度重なる大雨がもたらす甚大な浸水被害
- 大雨が発生する頻度の増加
- 洪水氾濫域に人口・資産が集中
- 人口高齢化等による浸水被害構造の深刻化

今までよりも浸水被害(河川や水路)が拡大

河川・下水道の整備を基本とした『これまでの治水』での対応で、浸水被害を防ぐことが困難に。

総合治水条例の背景

河道拡幅・雨水管整備等を行う「河川下水道対策」

ながす

+

雨水を一時的に貯留・地下に浸透させる「流域対策」

ためる

+

浸水した場合の被害を軽減する「減災対策」

そなえる

3つ合わせて **総合治水**

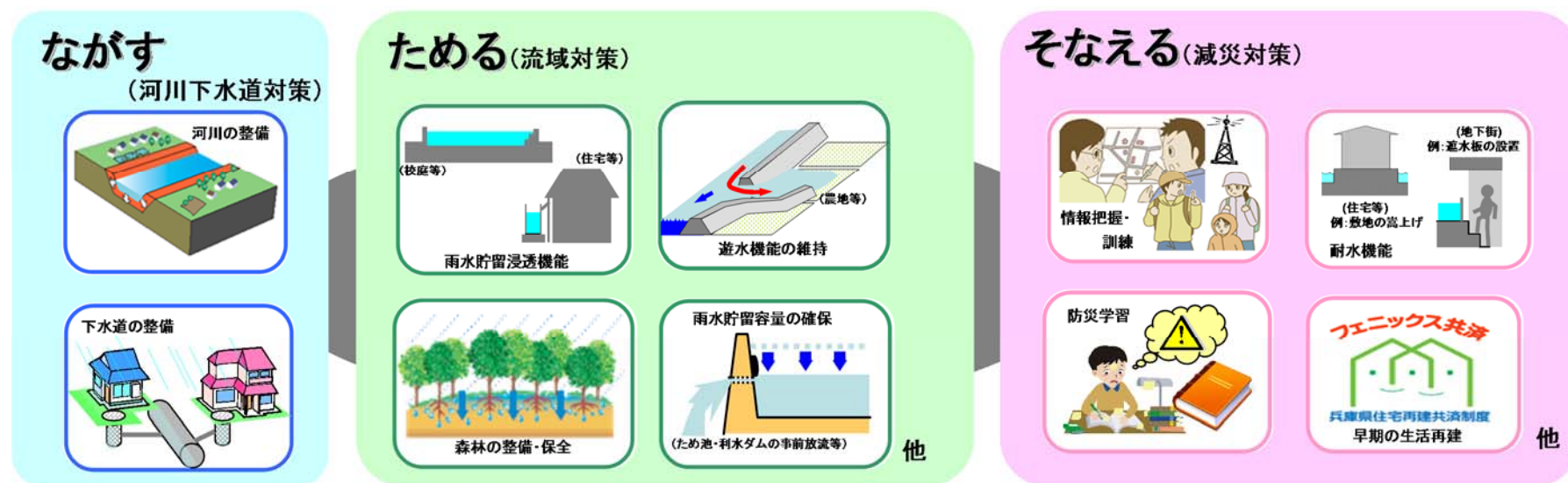
総合治水条例の概要

総合治水条例の概要

平成24年4月 総合治水条例 が施行

特長 ①

- 総合治水の推進に関するあらゆる施策を示した上で、国・県・市町・県民の責務を明らかにした。



県・市町・・・施策の策定・実施

県民・・・雨水流出抑制、災害への備え、施策への協力等

国・・・河川管理者として、総合治水の推進について県及び市町と連携

総合治水条例の概要

特長②

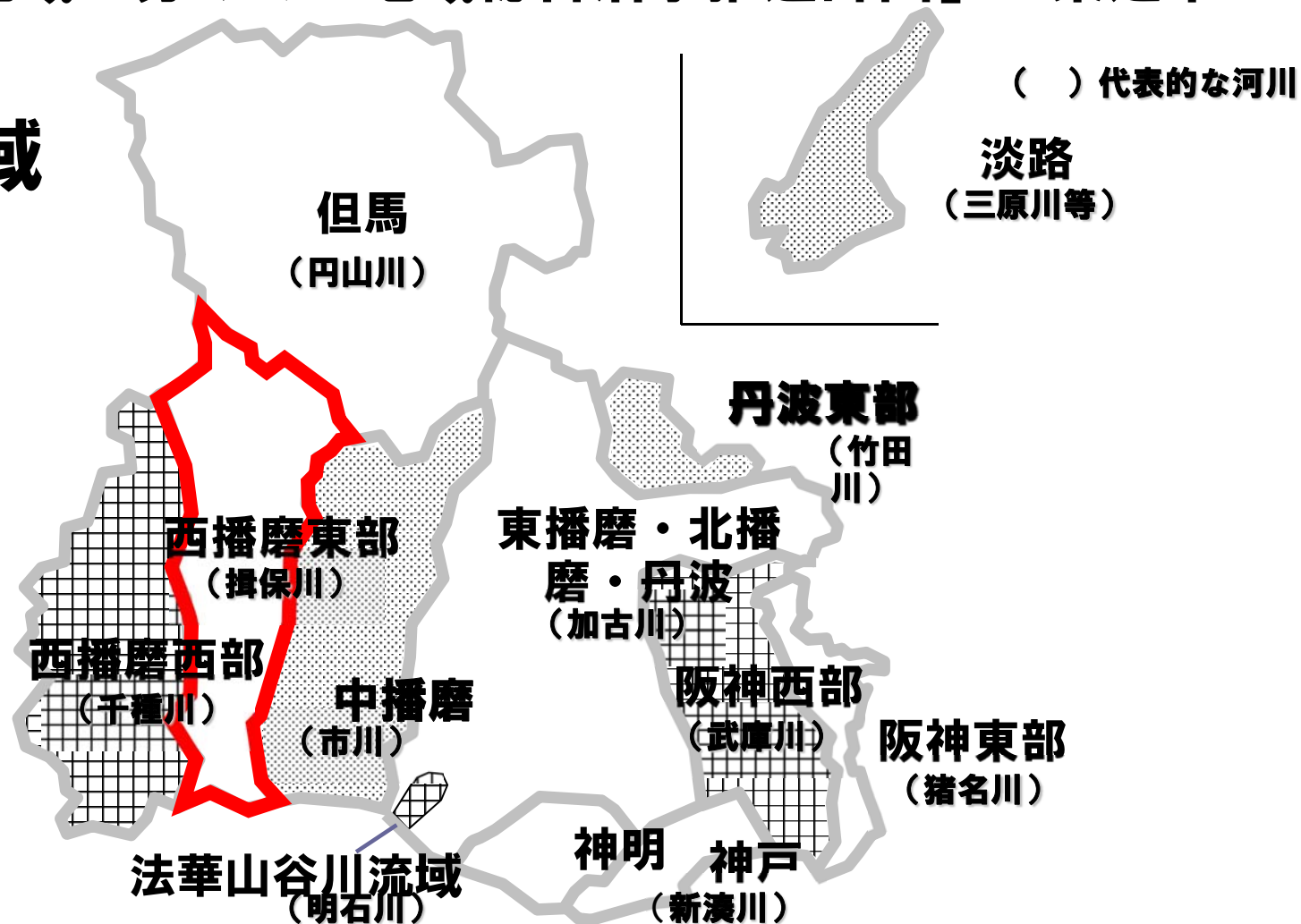
② 県下11地域に分けて「地域総合治水推進計画」を策定中

計画地域

H24年度

H25年度

H26年度



総合治水条例の概要

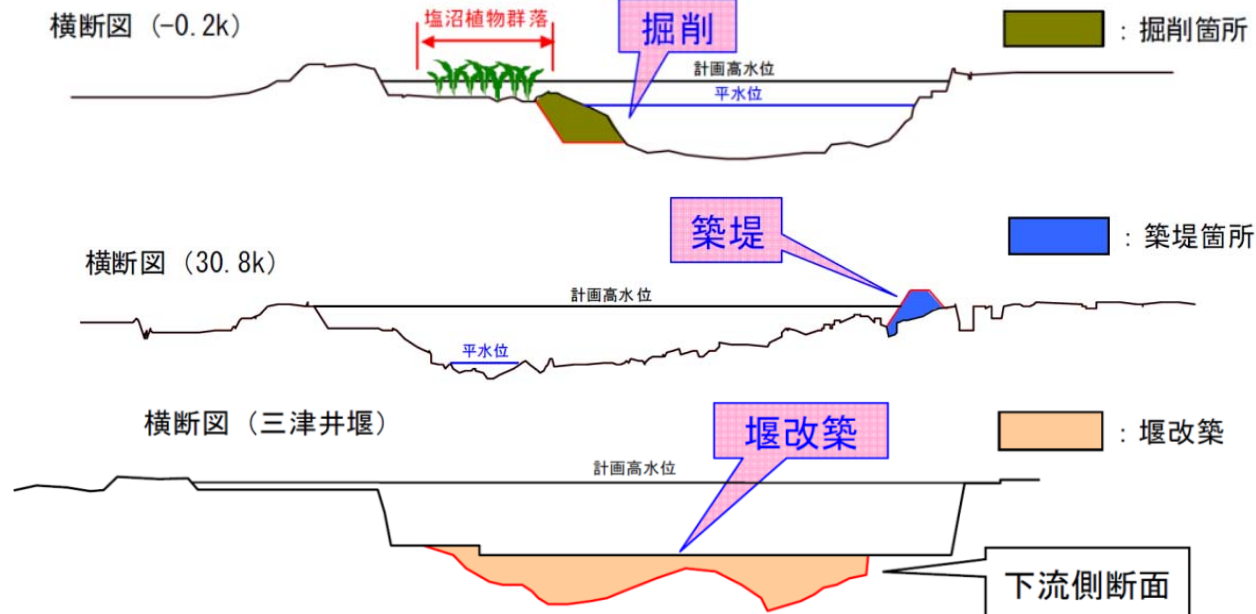
総合治水条例の対象

- 総合治水条例では、「降雨による浸水」を対象としており、高潮、津波その他の降雨以外の要因で生じる浸水は対象としない。

総合治水の取り組み例（河川下水道対策）

河川

河川改修



下水道

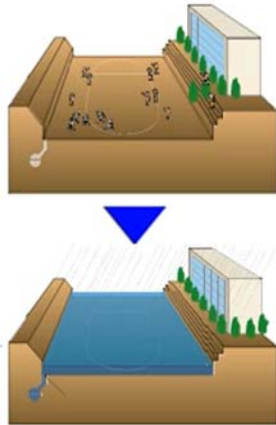
下水道の整備



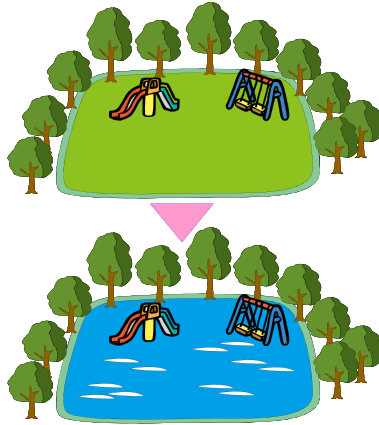
総合治水の取り組み例（流域対策）

土地

校庭貯留



公園貯留



建物・工作物

各戸貯留（雨水タンク）

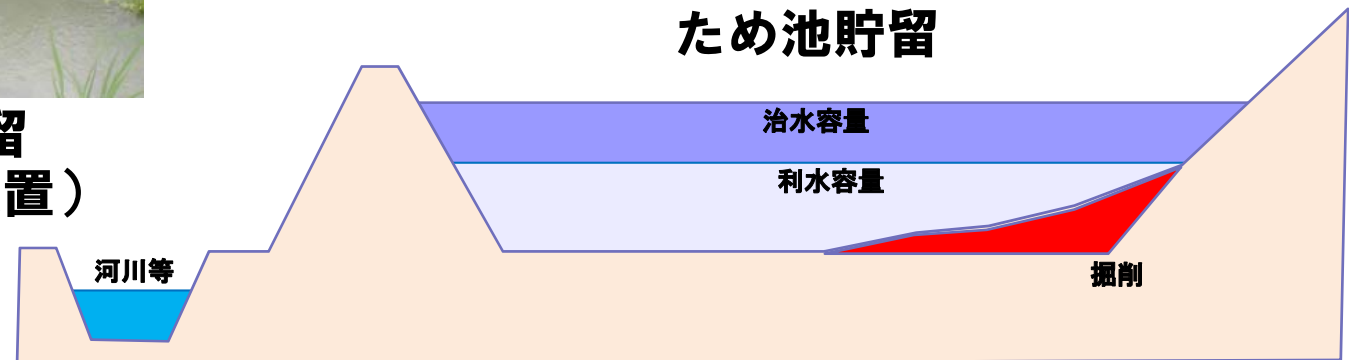


水田・ため池



水田貯留
（せき板の設置）

ため池貯留



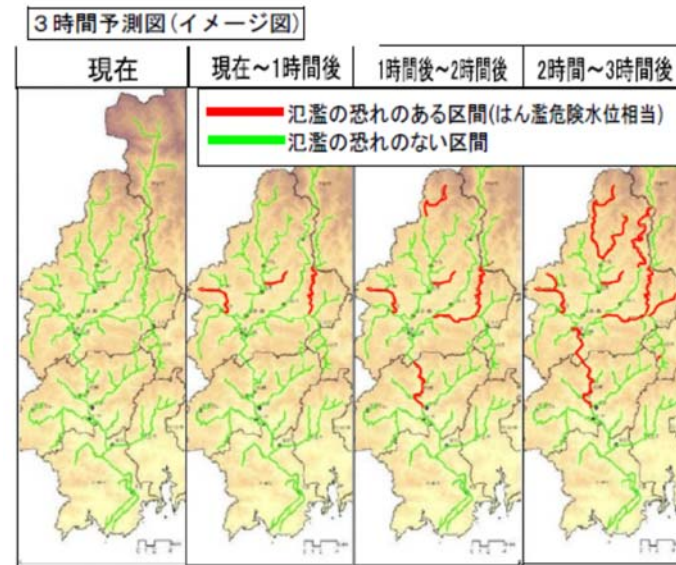
掘削による治水容量の確保

総合治水の取り組み例（減災対策）

情報の伝達



兵庫県CGハザードマップ



氾濫予測システム

訓練



水防訓練



避難訓練

総合治水の推進に向けて

総合治水は国、県、市町、県民が相互に連携を図りながら協働して推進することが重要です。

行政だけではなく、県民の皆さんにも、ご自宅の庭先での雨水貯留や自治会ぐるみでの防災学習等できることから総合治水に関する取組を行っていただきますようお願いいたします。

